

東日本大震災の被災者のみなさんに、心からお見舞い申し上げます。

福島第一原発の重大事故を教訓として 浜岡原発の運転停止を求める

シンポジウム

澤田昭二さんをお招きして

(名古屋大学名誉教授)

緊急開催

日本共産党は、痛ましい犠牲となられた方々にたいし、謹んで哀悼の意を表するとともに、被災者のみなさんに心からお見舞い申し上げます。

新 た け と よ

No.201

日本共産党武豊町委員会

知多郡武豊町字瀬木25-1-2

電話 (72) 2400

とき 4月16日 (土)

午後2時~4時

(開場 午後1時30分)

ところ 武豊町立中央公民館

第1・2会議室

お話しする方

「浜岡原発の運転停止とエネルギー政策の転換を」
名古屋大学名誉教授

原発問題愛知県連絡センター代表委員

澤田 昭二 さん

「浜岡原発の実状と停止の可能性」

元中部電力社員

坂井 淳一 さん

「武豊町の防災対策の現状と課題」

「武豊町地域防災計画に関連して」

武豊町議会議員

梶田 稔 さん

主催 日本共産党武豊町委員会

同 武豊町議会議員団

(裏面に関係資料)

お誘いあわせて、ぜひ、お出かけください。(入場無料)

東日本大震災による福島第一原子力発電所 大事故の教訓をいかし、浜岡原発の運転停 止をもとめることを要請する要望書

3月11日に発生した東日本大震災による福島第一原発の事故は、日本の原発史上最悪の事態となっています。

日本の原発安全対策は、国際的な基準を軽視し、今回のような過酷事故が起こることを想定した対策を全く行なっていませんでした。また、2007年の中越沖地震で被災した柏崎刈羽原発事故の教訓もいかされていません。今回の震災を通じて、従来の日本の原発政策が安全を確保するうえでふさわしいものとなっていないことがあらためて明らかになりました。

日本共産党愛知県委員会と原発問題愛知県連絡センターが、浜岡原子力発電所の場合でも、崩壊熱を除去するための機器冷却系のトラブルによって、炉心熔融などの重大事故が発生する可能性が大きいことを指摘し、東海地震の予想震源域に立地する浜岡原発は一刻も早く運転を停止することを繰り返し求めてきた経過があります。今回の福島第一原発で発生した重大事故は、危惧されていたことが不幸にも現実となりました。

武豊町から100km程度の距離にある中部電力浜岡原発は、予想される東海地震の震源域の真上にあり、今回と同じような規模の巨大地震に襲われる可能性が高いといわれています。東海・東南海地震が連動して発生した場合、福島第一原発と同様、それ以上の被害が想定され、武豊町民に多大な被害が想定されることから、浜岡原発の即時停止を中部電力(株)に求められるよう要請します。



初山芳輝武豊町長(右端)に浜岡原発の運転停止と武豊町の地震防災対策の見直しと抜本的強化を申し入れる日本共産党武豊町議団と住民のみなさん(3月30日)

浜岡原発運転停止などを町長へ申し入れ

3月30日、日本共産党武豊町議団と住民代表のみなさんが、初山芳輝武豊町長へ「浜岡原発運転停止と町地震防災対策の見直し」などについて申し入れを行いました。要望書(全文)は左欄のとおりです。

国民の立場で真実伝える新聞 ぶん 赤旗

日刊 月2900円
日曜版 月800円

生活相談とぶん「赤旗」のお申し込みは
武豊町議会議員 梶田 稔 電話72-3055
武豊町議会議員 梶田 進 電話73-8908
武豊町議会議員 小西 幸男 電話72-3177
字祠峯2-21-2